

意向

このコロナウィルスによって危機にある家族のために祈りましょう。そして高利貸の回心のために祈りましょう。

多くのところで、このパンデミックの影響が出てきています。多くの家庭が必要とするものに欠き、お腹をすかせ、不幸なことに、高利貸のグループが《助け》の手を彼らに差し伸べています。これは新たなパンデミックです。社会的なパンデミックです：日雇い・・・働けなくなっても子育てはしなければいけない。でも食べるものがない。そして高利貸がこの家族のなけなしの蓄えを奪っていくのです。祈りましょう。これらの家族のために、たくさんこのような家族の子どもたちのために、これら家族の尊厳のために祈りましょう。そして主が高利貸の心に触れ、回心しますように、高利貸のために祈りましょう。

説教

この使徒言行録（5章 27-33）のところで、ペトロは、人々の前で教えることを禁止したがっている大祭司の批判と脅迫を前にして、人間に従うよりも神に従わなければならないと答えます。皆の前で堂々と救い主であるキリストの復活を告げ知らせます。そのため、祭司長たちはペトロを殺そうと思いました。

弱い者であったペトロの勇気は、彼の信仰が弱まらないようにと彼のために祈ったイエスの祈りからきています。イエスはペトロのために祈りました。そしてイエスは私たちのためにも、贖いの代償である彼の傷を見せながら御父の前で祈っていらっしやいます。イエスは執り成してください：私たちは、私たち自身の祈りよりも、イエスの祈りにもっと信頼しなければなりません...

中略

イエスがペトロにしたことは、イエスは私たちにもなさいます。イエスは私たちのために、御父の前で祈ります。私たちはイエスにこの恵みを、私たちを助けてくれるこの恵みを下さるようにイエスに祈るのは慣れてしています。しかし、御父に傷を見せているイエスを観想することに、執り成し手であるイエスに、私たちのために祈っているイエスには慣れていません。イエスの祈りのお陰で、聖霊の賜物で、ペトロは卑怯ものから勇者へと変容することができました。

このことを考えましょう。イエスに立ち返りましょう。私たちのために祈って下さるイエスに感謝しながら。イエスは私たち一人ひとりに祈っておられます。イエスは執り成してください。イエスは御父が見られるように、傷をお体と共に持っていくことを望まれました。これが私たちの救いの代償です。

私たちはもっと信頼しなければなりません。私たちの祈りよりも、イエスの祈りに。「主よ、私のために祈って下さい。」「私は主である。あなたに与えることができる

…」「そうです。でもどうかわたしのために祈って下さい。あなたは執り成しをして下さいます。」これがペトロの秘密です。「ペトロ、私はあなたの信仰が弱まらないようにあなたのために祈るでしょう。」
主が、教えて下さりますように。私たちのために祈って下さる恵みを願うことを。